

令和6年3月 第4回南部町教育委員会 議事録	
開催日時	令和6年3月25日(月) 午後1時40分～午後3時40分
開催場所	役場天萬庁舎2階会議室
出席者	福田教育長・瀬田委員・吉田委員・種委員
説明員	水嶋総務・学校教育課長、二宮人権・社会教育課長、 黒見校長(南部町部活動あり方検討委員として)
書記	加藤課長補佐
	【開会 午後1時40分】
	【1. 互礼・開会】
	【2. 挨拶】
教育長	開会挨拶
	【3. 非公開案件決定】
	7. 専決処分Ⅱ 9. 報告Ⅱ
	【4. 議事Ⅰ】
教育長	議案第20号「鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置」について
課長	議案P.6-8説明
教育長	令和6年度は中学校の教科書採択をするものである。
	議案第20号「鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置」について、承認してよいか。
全員	了。
教育長	議案第20号「鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置」については、了承とする。
	議案第21号「令和6年度学校運営協議会委員の任命」について
課長	当日配布資料P.5-7説明
教育長	議案第21号「令和6年度学校運営協議会委員の任命」について、承認してよいか。
全員	了。
教育長	議案第21号「令和6年度学校運営協議会委員の任命」については、承認とする。
教育長	議案第22号「令和6年度CS委員の任命」について
課長	当日配布資料P.8-9説明
	これらはCS委員に変更のあった学校から提出されたもの。
教育長	議案第22号「令和6年度CS委員の任命」について、承認してよいか。
全員	了。
教育長	議案第22号「令和6年度CS委員の任命」については、承認とする。
	議案第23号「令和6年度地域学校協働活動推進委員の任命」について
課長	当日配布資料P.10-14説明
	推進委員については事前に教育委員会事務局に相談を受けたものである。
教育長	議案第23号「令和6年度地域学校協働活動推進委員の任命」について、承認してよいか。
全員	了。
教育長	議案第23号「令和6年度地域学校協働活動推進委員の任命」については、承認とする。
	議案第24号「南部町中学校等入学祝い金事業実施要項の制定」について

課長	議案書P.9説明
	就学援助制度拡充の要望に対して、中学校入学準備時の保護者負担について協議した。
	試算では10万円の負担があるが就学援助では6万3千円までである。残りの3万円程度に
	対して、制服購入にかかる1万円の補助とあわせて2万円分のたすかーどポイントを付与
	することで、概ね全額に届くと判断しているところである。それ以外の家庭にも30%の負担
	軽減が図られる。
教育長	議案第24号「南部町中学校等入学祝い金事業実施要項の制定」について、承認して
	よいか。
全員	了。
教育長	議案第24号「南部町中学校等入学祝い金事業実施要項の制定」については、承認とする。
	議案第25号「令和6年度学級編成」について
課長	議案書P.10説明
	国の基準と異なるのは会見小6年と南部中1年。
	会見小6年については、県の少人数学級を1年前倒し実施することで小学校全学年で30人
	学級を実現する。
委員	県の基準で中1は33人だが、中2、中3は何人か。
教育長	35人である。
	特別支援学級在籍の生徒は人数に含まないため、南部中3年は1クラスとなる。
教育長	議案第25号「令和6年度学級編成」について、承認してよいか。
全員	了。
教育長	議案第25号「令和6年度学級編成」については、承認とする。
	【5. 議事Ⅱ】
	なし
	【6. 専決処分Ⅰ】
	なし
	【8.報告Ⅰ】
	①月例報告
教育長	議案P.3説明、別添教育委員会事務局及び小中学校行事日程表のとおり
委員	南部中学校の卒業式では、黒見校長先生の生徒一人一人にかけられる想いが感じられ
	た。校長先生の涙にもらい泣きする生徒が多数いた。人間味あふれる卒業式であった。
委員	会見第二小学校の卒業式は、参列する大人が児童の一生懸命な姿に皆で涙した。
委員	会見第二小学校の卒業式に参加したが、保護者も含め誰一人としてビデオやカメラで撮影
	するために動き回ることなく、全員で児童を見守っていることが実感できた。
	②事務局関係
	○一般質問について
課長	別添資料P.1-9説明
	③総務・学校教育課関係
	○各校学校評価について
課長	別冊資料説明
	○通学路について

課長	別添資料P.10説明
	○南部町立学校における食物アレルギー対応方針の改訂について
課長	当日資P.1～4説明
	希望者のみ提出としていたものを、全員対象のアレルギー等事前調査に変更とする。
	この変更は学校担当者の希望によるものである。
	④人権・社会教育課関係
課長	○さくらまつりについて
	別添資料P.11,12説明
	○板祐生出会いの館 令和6年度展覧会について
課長	別添資料P.13説明
委員	さくらまつりは令和5年度内に2回目の開催となるが、経緯はどのようなものか。
課長	年度にかかわらず、実行委員会により毎回の開催日は決定されるため。
	【10. 協議 I】
	1) 委員提案(報告)
	なし
	2) 事務局提案
	①南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言
校長	7月26日から1月30日までの期間で計5回の協議を行い、その結果を提言にまとめた。
	生徒が放課後の時間を有意義に過ごすためという点で協議を重ねてきた結果である。
	国は令和8年度末を目途に地域移行を進めると示す中で、南部町では令和5年度より部活動全員加入制を解除している。令和6年度は拠点校方式の採用についても検討しているところである。
	南部町においては、今後「部活動」の名称を変更していくことで改革が進むという認識に立った提言である。
	提言をもとに提言1～5について説明
委員	考え方を変えることが求められている。今後は「見える化」することが大切。
	一方で人材の確保、体制の確立が可能かという不安もある。指導者、保護者の負担という問題も大きな問題であると考ええる。
委員	人材確保に加え、クラブ化することで中学校から参加する生徒は技術差が大きくなりそうした生徒への配慮、対応等も心配である。
校長	大会志向の生徒、スポーツに親しみたい生徒、双方をカバーしたい。
	一つの種目を究める競技力向上型だけでなく、様々な種目に活動の中で触れていくスポーツクラブ型のクラブも設置することで、各ニーズに対応できると考えている。
委員	部活動の経験のない先生も指導にあたらないういけないう状況への改善策となる
	コーディネーター配置については、早急な配置を検討してほしい。
	「合同部活動」「拠点校方式」「南部町クラブ」など、新しい用語がたくさん出てくるのでそうしたレベルからの丁寧な説明が必要と考える。
校長	当面は、クラブコーディネーターとスポnetなんぶとの連携をベースに推進していく。
委員	中学校の部活動には、多感な年代の生徒が各種目の経験値ゼロからのスタートを支える側面があった。また、人間関係のトラブルを教育の面で解決もしてきた。

	こうしたことを、今後はクラブと学校との連携・協働で解決を図っていかねばならなくなる。様々なケースを想定して対策を検討してほしい。
校長	学校から部活動でグリップしていた生徒指導力が薄まっていくという不安は現場にもある。対策を検討していく必要度は十分に感じている。
	②園訪問について
課長	6月28日(金)に実施とする。
	【11.協議Ⅱ】
	なし
	【12.今後の主な予定】
教育長	会議案P.5説明
	着任式は、4月2日(火)13:30～
	【13.次回委員会開催日について】
課長	1) 4月(第5回)定例教育委員会の開催について
	日時 4月17日(水)午後3時
	会場 南部町役場 天萬庁舎2階 会議室
	2) 5月(第6回)定例教育委員会の開催について
	日時 5月22日(水)午後1時30分
	会場 南部町役場 天萬庁舎2階 会議室
	【14. 互礼・閉会】
	午後3時40分